

## 資源循環に対する考え方

世界的に人口が増加し、経済発展や利便性の追求により、資源消費のスピードが上がっています。このまま大量採掘が続けば資源は枯渇しかねません。事業活動での資源調達・廃棄における環境負荷を抑えるべく、持続可能な資源循環を目指します。

### 重要課題

| 課題     | 廃棄物総廃棄量削減・リサイクル率の向上 |        |                 |       |
|--------|---------------------|--------|-----------------|-------|
|        | 廃棄物総廃棄量削減（単体）※1     |        | リサイクル率の向上（単体）※2 |       |
|        | 目標                  | 実績     | 目標              | 実績    |
| 2020年度 | 2%減                 | 10.9%増 | 81%             | 81.5% |
| 2021年度 | 3%減                 |        | 82%             |       |
| 2022年度 | 4%減                 |        | 83%             |       |

※1.2 目標・実績は2018年度比です。

# 資源循環への取り組み

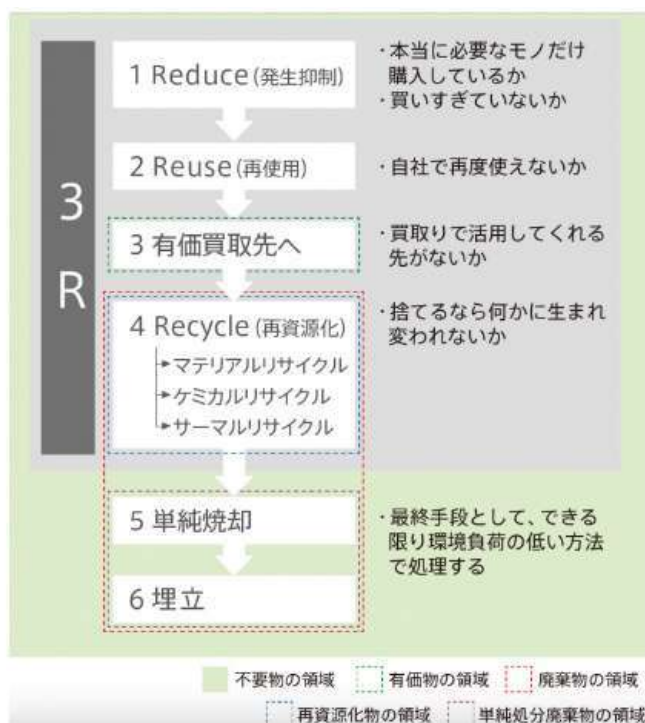
## 3R (Reduce、Reuse、Recycle) 活動

事業活動の上で発生する不要なモノのなかには、再使用、再利用できるものが多くあり、捨てれば廃棄物となりますが、再使用、再利用すれば地球から資源を削る量は少なくなっていきます。これまでも廃棄物削減、リサイクル活動を進めていましたが、2016年度環境保全分科会にて、考え方を整理して不要となるモノを種類別に特定させ、3R (Reduce、Reuse、Recycle) の考えに基づき、廃棄物の削減、処理方法の改善など、資源循環を推進しています。

買取りリユース・リサイクルされるモノを有価物、廃棄物としてサーマル、マテリアル、ケミカルリサイクル処理されるモノを再資源化物、どうしてもリサイクルできず単純焼却、埋立するモノを単純処分廃棄物と呼び、リサイクル率<sup>※</sup>の向上を目指しています。

※リサイクル率：(再資源化物+有価物) / (再資源化物+単純処分廃棄物+有価物)

### 当社の廃棄物管理（循環型社会への取り組み）の考え方



## ● TOPICS

東北ロジスティクスセンターでは、業務から発生する産業廃棄物の分別・見える化及び廃棄物の有価売却化に取り組みました。見える化では、地図や番号や写真を用いて廃棄物の種類ごとの分別方法を明確にすることで、表示に従った分別の徹底とともに、廃棄物の有価売却化も進みました。

このような取り組みの結果、2019年度は前年比27トンの廃棄物削減、処理費用は約140万円の削減を実現しました。

<対象名>  
紙梱包資材

<回収業者・方法>  
〇〇商会  
クロスロール空き袋、  
Hフロア正反外装紙含む  
**指定パレットへ保管 ④**

<回収日>  
月・水・金

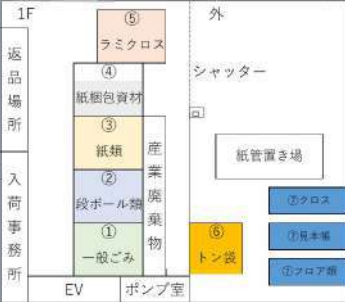
<主な排出先>  
Hフロア入庫場、クロス出荷場



<廃棄場所> 1F

保管場所に回収用の表示を掲示しておりますので表示に従ってごみの分別を行って下さい

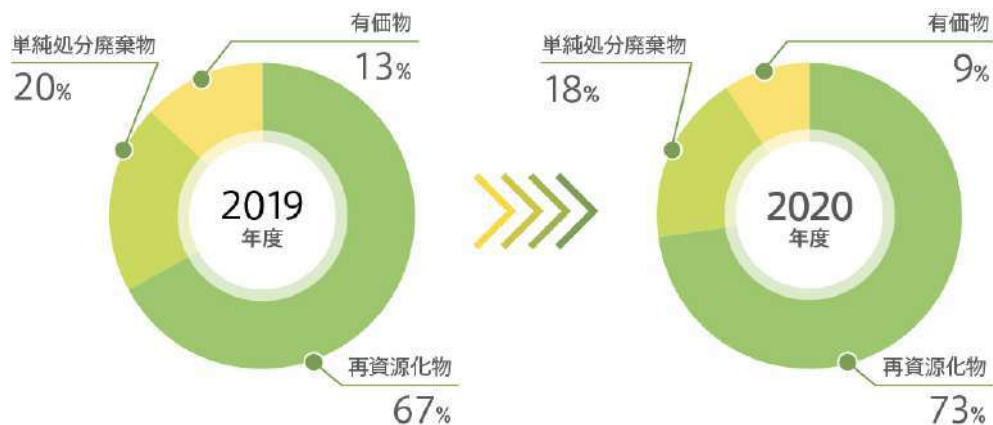
<その他の回収場所>  
トン袋類は溜まったら廃棄コンテナ裏の⑥の場所にトン袋を持って行って下さい



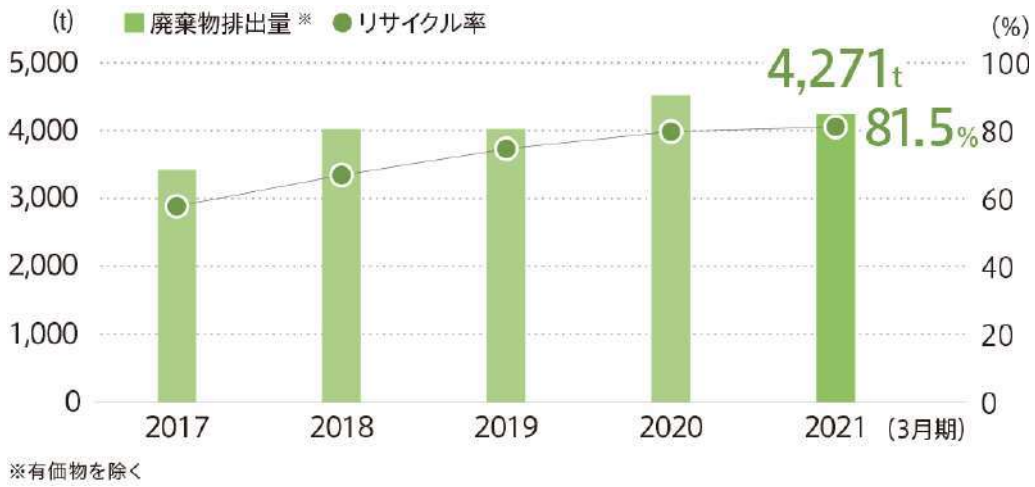
## 廃棄物排出量の推移



## 産業廃棄物の内訳



## リサイクル率の推移



## ユニフォームのケミカルリサイクル



2017年度、ロジスティクスセンタースタッフのユニフォームをリニューアルしました。新しいユニフォームは環境負荷面も考慮してリサイクル素材を選定、古いユニフォームはすべてケミカルリサイクルしています。この結果、衣料製品を通じて55%のCO2排出削減に貢献しました。

## 「sangetsu 見本帳リサイクルセンター」を開設

環境負荷低減の取組みとして、当社が発刊した見本帳の回収・解体・分別を行う「sangetsu 見本帳リサイクルセンター」を開設しました。



## 設立の背景

当社は壁紙や床材・ファブリック等約12,000点の内装材を企画・販売しています。そのビジネスモデルの中核となるのが、約30種類の見本帳であり、各見本帳は、おおよそ2～3年のサイクルで改訂しています。

使用後の見本帳に関しては、現状、自社回収できているものが全体の約10%程度であり、大部分は産業廃棄物として処理されています。

また、見本帳自体が、台紙（紙素材）、サンプルチップ（塩化ビニル樹脂・化学繊維）など、複数の素材で構成されていることから、資源として再生するマテリアルリサイクル(※1)での対応ができず、最終的には、単純埋立処理やサーマル処理に留まってしまうという課題がありました。

※1：マテリアルリサイクル：廃棄物を再び同じ製品、または別の製品の材料として再利用するリサイクル手法

## 設立の目的

このたび、これらの環境課題に取り組み、より環境への負荷を低減するマテリアルリサイクルを中心とした資源循環を行うことを目的に、本社に隣接する旧配送センター内に「sangetsu 見本帳リサイクルセンター」を開設しました。同センターでは、使用後の見本帳を顧客より回収し、リサイクルを行うための前工程である、見本帳の解体・分別を行います。また、作業スタッフに障がい者を雇用することで、障がい者の活躍支援を行い、ダイバーシティを推進します。

当社は、環境・社会を巡る課題へ取り組み続けることで、サンゲツグループの長期ビジョン【DESIGN 2030】に掲げる、「みんなで、いつまでも、楽しさあふれる」社会の実現に貢献していきます。

### 1. 見本帳のマテリアルリサイクルを促進し、環境負荷を低減

sangetsu 見本帳リサイクルセンターでは、顧客より回収した見本帳を、表紙、台紙、サンプルチップに分解し、素材ごとに分別します。分別された素材は、その後、リサイクル専門業者にて、再生塩ビ、再生パルプ、セメント材料へとマテリアルリサイクル（一部はサーマルリサイクル）されます。2021年度は本社を構える愛知県を中心に回収を進め、年間5万冊のリサイクルを予定しています。

2022年度以降は対象地域を拡大し、リサイクル率の増加を図ると共に、デジタル見本帳の活用を促進し、見本帳発刊総数の削減を進めることで一層の環境負荷低減に取り組みます。



### 2. 障がい者の活躍支援、ダイバーシティを推進



同センターにおける見本帳の作業スタッフには、障がい者を雇用することで、障がい者の活躍支援を行います。当社の2019年度の障がい者雇用率は3.1%と、民間企業の法定基準2.2%を上回っており、2022年度には、4.0%を目標に掲げています。障がい者の活躍支援については、雇用率の向上とあわせ、一人ひとりが真に自立し、心身ともに豊かに生活できるよう、支援していきます。

## サンゲツカーテン・エコプロジェクト



当社では、環境保全への取り組みの一環として2000年10月より「サンゲツカーテン・エコプロジェクト」を進めています。下記のような専用タグラベルが付いているカーテンについては、当社が責任を持って回収し、自然環境保護の観点から、なるべくゴミを増やさない処理を実施しています。



表面 (例)



裏面 (例)

### 回収の手順



回収したカーテンは素材、加工状態の違いによってそのリサイクル処理法が異なります。当社では、再資源化するケミカルリサイクル、固形燃料など熱源にするサーマルリサイクルに分類しています。



回収したカーテンを再資源化します。



回収したカーテンを固形燃料化して熱エネルギーにします。



※出荷ロスなど端材のリサイクルも含まれます。

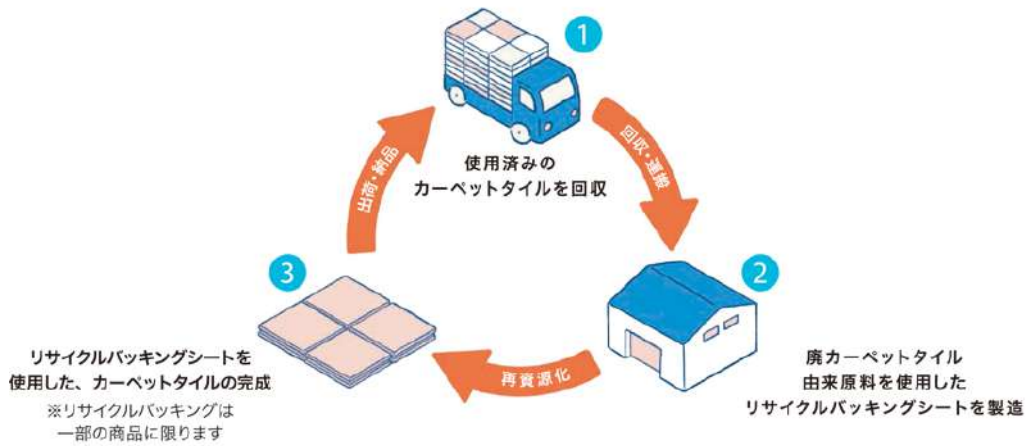
※回収したカーテンは商品のリサイクル方法ごとに分別したうえで、リサイクルを行っています。

※リサイクル活用法については、技術革新やその他の理由で変更になる場合があります。

## カーペットタイル・リサイクル



カーペットタイル（NT-250 D-ecoシリーズ）は、廃カーペットタイルを特殊技術によりリサイクル（原材料化）しパッキング層に再生した環境商品です。



## 廃番商品・商品端材の有効活用

当社商品は、新しい見本帳に改訂されると、その新見本帳に収録されなかった従来の商品は、廃番商品となり、市場の流通に乗らないデッドストックとなってしまいます。

また、カットロスなどで発生する端材は、素材としてはしっかりしているにもかかわらず、インテリア商材として販売できるサイズに満たないなどの事情により、廃棄処分（多くはマテリアルリサイクル）しています。

一方で、そういった「もったいない」素材を有効活用する取り組みを地域の企業とコラボレーションして進めています。

### ● 捨てる廃材をバッグへ～アップサイクル～

工場から出る端材や廃棄物を活用したエコプロダクツの企画・販売を手掛ける株式会社ウェイストボックス（名古屋市中区）の企画により、廃棄していた重歩行フロアやクッションフロアをバッグや雑貨の材料として活用しています。

エコブランドショップ「MODECO（名古屋市中区）」にて、アイテムの企画・製造・販売を行っています。



床材を使用したビジネスバッグ



## 地元保育園・学童保育所への旧展示商品の提供



ショールーム展示品の切替えに伴って生じる旧カーテン生地を本社近郊の保育園・学童保育所に寄贈しています。これらのカーテン生地は、従来は廃棄処理されていたものですが、各施設では備品や玩具への装飾、園児・児童達の創作品として利用されています。展示品の再利用を通して近郊保育園・学童保育所との交流を行っています。